

弓道ながの

第19号

発行：長野県弓道連盟
会長職務代理者
副会長 山川茂樹
〒396-0021
伊那市大字伊那 3919-3
編集：県弓連広報部会
印刷：樹長野企画会

当的・貫的・在的

長野県弓道連盟副会長

清水 克也



平成十八年度長野県弓道連盟指導部の事業計画でも、指導目標として、

一、射行における縦・横十文字の構成(基本体型)から始まって

二、心気の働き 三、集中力

四、一文字開き 五、自然の表情

最後に六、的中至上ではない(武道)が掲げられている。

日頃「的中にこだわらな」と教えられているし、指導も前述の通りである。

的の中のことに関して考えれば、的に對峙したときに、これを無視するのは大変難かしい。国体或いは全日本大会等で一本差で負けたり、審査会で不中などで、悔やんだりすることも多い。

前全日本弓道連盟鴨川会長先生の二

年ほど前の新春対談でも話されている通り「的に對峙なくて何の弓引きか、三心三合で隙のない弓の道を」と論じている。即ち「射士は射位に立ち、的と對峙し、己と闘う、これが弓引きの憲法である」と。

的をねらって射を行う以上「中り」は射において重要なことの一つであることは言うまでもない。この中りを分類すると、当的、貫的、在的の三つに分けられる。と千葉胤次先生が述べられている。(教本二巻)

「当的」とは、ただ的に中てるだけであり悪い射型をも直そうとしないリクリエーション的能射必中でありこれは考え直さねばならない中りである。

「貫的」とは、中るだけでなく的を貫く技術的熟練とともに



中りに気合いが充実し強力な射である。しかしこれは、的を敵と見る戦闘的の射で、この中りに固執してはならない。

「在的」とは、字の如く矢は的の中に在る。的は目標でも敵でもなく自己の反映である。自己の思考行動が平静であれば、自ずと基本体、息合い、目づかいなど相整い、射は所謂誠を尽くした「自然の中り」になると言う。

この状態では、矢は「離れるに先立つて的の中に在る」。人との一体化であり極言すれば、人と宇宙との調和とも云える。この中りが理想であって、我々は少なくとも「貫の中り」から「在の中り」に到達するように心がけねばならないと思う。

追記

県弓連副会長 栗林 實先生が今年一月二日に急逝されました。県弓連並びに地域商工業界の発展に尽力された先生で、我々としては実に惜しい大先輩に先立たれてしまい困惑しているところです。偶々残任期間中と言うことで不肖若輩者がお引き受けした次第です。会員の皆様方のお力添えを頂きながら、この大役を果たしたい所存です。故栗林 實先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。(合掌)



行射の選手(前5人立ち)



喜びの下諏訪向陽高校

全国高校総体
下諏訪向陽(女子団体)
喜びの総体 初優勝!!

※関連記事は4ページに記載

長野県弓道遠的選手権大会 第57回全日本遠的選手権大会県予選

—女子は伝田選手2連覇
男子は大和選手が優勝—

○7月16日

県営飯田弓道場

参加者43名

▽男子の部

60m8射・30m8射

- ①大和 邦浩(塩尻) 13中
- ②松枝 敏広(飯伊) 12中
- ③木下 祿章(諏訪) 12中
- ④志村 仁(諏訪) 12中
- ⑤中村 宏(諏訪) 12中



▽女子の部 60m8射・30m8射

- ①伝田 千里(長野) 14中
- ②栗林 薫(松本) 10中
- ③清水 和代(飯山) 9中

④久保田智恵(上伊那) 8中

⑤戸田 裕子(上小) 8中

◆全日本遠的大会長野県代表

○男子 大和 邦浩(塩尻)

木下 祿章(諏訪)

○女子 清水 和代(飯山)

久保田智恵(上伊那)

全国大会は、10月28日～29日

東京中央道場で開催

出場選手のご健闘をお祈りします。

—競技部長 清水—

全日本選手権北信越ブロック予選会

○7月23日/上越市弓道場

決定戦は各自一手3回を行的的中により上位3名を選出し北信越ブロック代表として、全日本選手権大会に出場する。

◆男子・ブロック代表

一位 小林 正毅(新潟) 6中

二位 中条 大輔(石川) 5中

三位 土川 俊市(長野) 5中

◆女子・ブロック代表

一位 清水 仁美(富山) 4中

二位 菊池真理子(富山) 3中

三位 藤沢 敏子(長野) 3中

なお、長野県代表として出場する選手は次の通りです。

☆男子 大口 晴男(飯山)

☆女子 久保田智恵(上伊那)

全日本弓道選手権大会

男子：9月21～23日

女子：9月23～25日

東京中央道場

出場選手のご健闘をお祈りします。

天皇盃

第57回全日本

男子弓道選手権大会

○9月21～23日/全弓連中央道場

長野県関係の成績は次の通り

土川俊市選手 1中 予選不通過

大口晴男選手 4中 同

決勝 —6射— (競射)

優勝 戸羽欠之(岩手) 6中○○○○

二位 渋谷佳史(徳島) 6中○○○×

三位 川名修徳(宮崎) 6中×

四位 土佐正明(千葉) 5中

五位 澤田 忠(岐阜) 5中

◎最高得点賞 土佐正明(千葉) 教七

皇后盃

第39回全日本

女子弓道選手権大会

○9月23～25日/全弓連中央道場

長野県関係の成績は次の通り

藤沢敏子選手 2中 予選不通過

久保田智恵選手 3中 25位で二次へ

二次 久保田選手 1中

的中条件に及ばず不通過

決勝 —6射—

優勝 菊池真理子(富山) 6中

二位 田中ひとみ(広島) 5中

三位 佐竹 明美(北海道) 5中

四位 女屋 厚子(群馬) 5中

五位 石本 千夏(和歌山) 5中

◎最高得点賞 飯島千代子(埼玉) 教六

山川茂樹副会長 会長職務代理者に

平成18年9月20日古澤 博会長が

逝去されたことに伴う会長選任につい

ては、9月24日副会長、常任理事会を

開催し協議の結果、山川茂樹副会長を

会長職務代理者として事業の推進をす

ることに決定しました。ご了解をお願

い申し上げます。 —県弓連事務局—



連載③

私の歩んだ道

大久保秀雄

やたらに気合ばかり入れられた応援練習は非常に恐ろしく、すっかり気が落ち込んでしまったが、1カ月ほどしたある日のこと。

相変わらず厳しい応援練習が始まってから30分くらいした時に、弓道部の先輩が突然部屋にやって来た。すると応援団員から「弓道部員は前に出る。今から弓道場に行って練習をしろ」とお許しが出たのだ。

先輩がわざわざ呼びに来てくれたのだ。そのうれしかったこと。

この途中退室を許されたのは運動部だけで、柔道部、剣道部などいつも先輩が呼びに来るようになった。おかげで私たちは、今や遅しと先輩のお迎えを心待ちするようになった。

しかし、珠算部や書道部など文化系の部員や、どこの部にも入っていない生徒は、最後まで応援練習を行わねばならなかったのかわいそうだった。しみじみ「弓道部に入ってよかったなあ」と思ったものだ。

弓道部でよかったことはもう一つあった。当時は、正課の中に武道の時間

があり、柔道、剣道、弓道のうちから必ず1種目履修しなければならなかった。私は弓道を選択し、部活として毎日練習していたおかげで、1年から5年まで必ず武道の採点は最優秀の甲だった。成績票を見るたびに「弓道部に入っ

てよかったなあ」と実感したものだ。

弓道部の練習は毎日放課後に行われた。1年生のころの練習といえ

ば、上級生が射場から28センチ離れた直径36センチの的に向かって射た矢を矢場から抜き取り、ふいて差し出すことだった。

つまり、上級生が矢を射る姿をじっと見ていることが1年生の練習だったのだ。自分で射ることはほとんどなかった。

2年生になっても、道場に入つて的に向かわせてもらう時間はほとんどなく、もっぱら道場の外での巻きわらげ

いことが中心だった。3年生が交代で矯正すべき点を丁寧に教えながら、基本



長野商業5年生（前列左より2番目が私）

をたたき込んでくれた。また、わずか2時間ほどの練習時間では、対外試合に出場しない1、2年生に道場を使う時間が回ってこないのはもつともなことだった。唯一、上級生の練習がすべて終わった後、暗くなるまでのほんのわずかな間、的に向か

って1、2本射ることができた程度だった。

しかし、これがうれしかった。「早く的に向かって、たくさん射ってみてい」ればかり考えていた。

そして、待ちに待った3年生となり、1月に行われた市内5校マツチ弓道大会に選手として出場することが決まった。

堂々的に射つ練習をさせてもらえるようになり、本当にうれしかった。

しかし、大会の結果は1位が長野中学（現長野高校）、2位が上水内農学校（現吉田高校）、3位が長野商業とあまり芳しくなかった。

私は一応大将として出場したけれど、結果は6射3中。6本射って3本が的

に当たったという意味だが、決していできじやなかった。きつと的に当てよう当てようと、力が入っていたんだろう。弓道は決して意識的に的に当てようとしてはいけないんだ。

試合後、先輩に弓道場の板の間に正座させられ、30分ほどお説教されたことを覚えている。

弓道を始めて4年ほどだったところから、私はよく的に当たるようになり、われながら驚くような結果を出せるようになった。

長野商業学校4年の時は、初めて県外遠征することになった。4、5年生合わせて10人のうちから5人の中に選ばれ、京都で行われた武徳祭の全国中等学校弓道大会の団体戦に出場したのだ。

この大会の主催は、柔道、剣道、弓道を奨励する全国組織の団体として活動していた武徳会だった。戦後マツカ―サー指令で解散し、その後はそれぞれ全日本弓道連盟とか全日本柔道連盟とか別個になったが、当時はすべて一緒に活動していたようである。

私は5人のうち3番目に射る中堅として参加した。上位3位への入賞はできなかつたが、認められて選手に選ばれたことがとてもうれしかった。

平成18年度全国高等学校総合体育大会
第51回全国高等学校弓道大会

★下諏訪向陽高校快挙★

「06総体近畿」は8月7日～9日
大阪府立門真スポーツセンター(なみはやドーム)特設弓道場で開催され女子団体で下諏訪向陽が見事優勝し、平成3年の飯田女子以来15年振りの快挙となった。

長野県関係の成績は次の通り

◆男子個人予選(4射)

香山 耕平 篠ノ井 3 準決勝へ
宮川 優毅 須坂 1

◆男子個人準決勝(4射)

香山 耕平 篠ノ井 3 決勝へ

◆男子個人決勝(射詰)

香山 耕平 篠ノ井 順位なし

◆女子個人予選(4射)

掛川 佳奈 下諏訪向陽 4 準決勝へ
牧内あかね 阿南 2

◆女子個人準決勝(4射)

掛川 佳奈 下諏訪向陽 3 決勝へ

◆女子個人決勝(射詰)

掛川 佳奈 下諏訪向陽 順位なし

◆男子団体予選(20射)

下諏訪向陽 8

井上 1 伊藤 1 北原 0

藤森 3 高木 3

◆女子団体予選(20射)

下諏訪向陽 14

決勝トーナメントへ

中村 2 五味 2 小池 3

高戸 3 掛川 4

◆決勝トーナメント1回戦(20射)

下諏訪向陽 12-9 池田(徳島)

中村 2中 2中 喜多

五味 2中 2中 秋山

小池 3中 3中 三宅

高戸 3中 0中 中村

掛川 2中 2中 真鍋

◆決勝トーナメント2回戦(20射)

下諏訪向陽 13-9 新屋(秋田)

中村 2中 4中 渡部

五味 2中 3中 武内

小池 2中 1中 畑

高戸 4中 0中 猿田

掛川 3中 1中 藤田

◆準々決勝(20射)

下諏訪向陽 15-13 鹿児島工(鹿児島)

中村 3中 2中 追立

五味 3中 2中 吉田

小池 4中 3中 島中

高戸 3中 4中 中間

掛川 2中 2中 松沢

◆準決勝(20射)
下諏訪向陽 10-10 東大津(滋賀)

中村 1中 3中 久万田

五味 3中 2中 恒松

小池 2中 1中 河端

高戸 3中 1中 谷口由

掛川 1中 3中 谷口恵

◆決勝(20射)

下諏訪向陽 13-11 作新学院(栃木)

中村 3中 4中 瀬畑

五味 2中 0中 渡辺

小池 3中 3中 山崎

高戸 3中 2中 松本

掛川 2中 2中 黒子

下諏訪向陽高校 代田嘉弘監督

「何度も苦戦しました。大会前に場面想定をして、窮地からの脱出を練習してきました。しかし、シュミレーションは仮想であって本物ではありません。実践の中でそれを実行できた彼女達に大きな力を感じました。彼女達は、シロタが教えたものよりも遙かに多くのものを自らの力で培っていたようです。それを顧問として誇らしく思います。」

昨年のベスト16を越え、ベスト8進出を第一の目標に掲げて臨んだ今大会。

仮設弓道場での練習、予選、決勝トーナメントと試合を重ねて行く度に成長を感じました。中らなかつた者を他の者が支えました。その立場が逆になりながら、お互いに支え合っている姿に成長と頼もしさを感じました。ジョグレス進化です。

男子は残念ながら予選で敗退してしまいましたが、ずっと同じ道場で切磋琢磨してきました。そのことが彼女達にもう一押し力を与えたことを忘れることは出来ません。

そして、この優勝は、保護者・地域住民・学校関係者・他校の弓道部員など様々な人々から支えられて勝ち取った栄冠です。」

祝 下諏訪向陽高校弓道部女子団体
インターハイ優勝おめでとう



JOCジュニアオリンピックカップ 第3回全国中学生弓道大会

○平成18年8月19日(土)～20日(日)

中央道場/明治神宮至誠館弓道場

全国中学生弓道大会は8月19日～

20日東京中央道場と明治神宮至誠館弓道場で開催され女子個人の部で長野日大中学の依田晴香選手が4位入賞と射技優秀賞に輝いた。

長野県関係の成績は次の通り

◆男子個人予選(8射)

川端 祐斗(長野日大中) 5中

順位決定遠近競射へ

◆男子個人順位決定競射(遠近)

川端 祐斗(長野日大中) 9位

◆女子個人予選(8射)

依田 晴香(長野日大中) 6中

決勝射詰競射へ

◆女子個人決勝(射詰)

佐々田美奈(東京) ○○○× 2位

西谷 宥美(石川) × 6位

大賀万里江(徳島) ○○○○ 優勝

中村 唯(熊本) ○○○× 3位

石橋 里沙(北海道) × 5位

依田 晴香 ○× 4位

◆男子団体予選(24射)

長野日大中学 6中

◆女子団体予選(24射)

長野日大中学 13中

決勝トーナメントへ

◆決勝トーナメント1回戦

三笠中(鹿児島) 6-6 長野日大中

競射 2-1

大川内 2中× ○3中 堀内

塚田 2中○ ×2中 依田

山迫 2中○ ×1中 磯村



4位入賞 依田晴香選手



長野日大中学チーム

弓仲間紹介

澄心静慮

上田市弓道協会

副会長 重田 功

上田市営弓道場の架に掲げてある幕は、平成十三年十月に女性会員の皆さんの手によって縫製され、会

員の両角喬男先生(錬士五段)の揮毫により作製したもので

以来五年の歳月を経ており、

風雨によって布地も大分いたんで来ており、幕打などに合

うと裂け目も大きくなり友ギレにてボンドで貼り騙しだま

し今日迄使用に耐えて来たが、そろそろ限界で新調しなくて

はいけない時期になりました。現在のは右端の印首印(赤

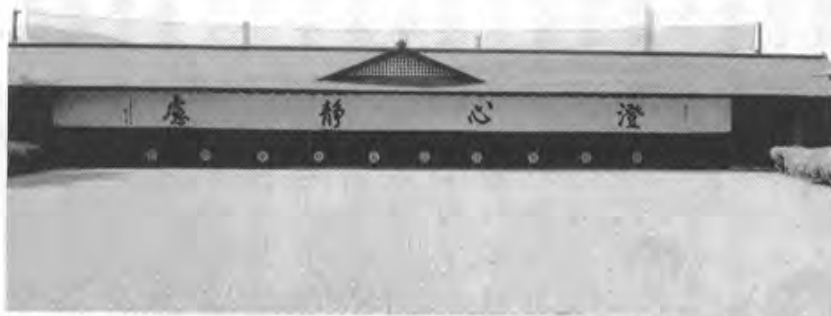
字)は真善美と篆書で書かれ、澄心静慮の大字は四字熟語から引用されたものでなく読ん

で字の如く、「澄心」は心を澄ます、澄み渡った心であり「静慮」はずかにか考えるの意で、

正に射場に立って行射をする弓士の思いをこめ願っている訳です。

さて次に新調する幕の文字は何に仕

わが道場を愛する心の顕であり、射場と架との空間を幕の字によってよき調



が肝要であると言います。

用具は穂先18cm、直径6cmの大筆で墨はバケツに

たっぶり用意する訳です。幕は大きく長いので家庭で

書く訳に行かず射場一杯に広げての

作業でもあり緊張この上なしと言っ

たところでしょう

か。因に白布の縫製から揮毫に至る

までの全て会員の皆さんの無料奉仕

に依るものであり、

わが道場を愛する心の顕であり、射場と架との空間を幕の字によってよき調

和を生み出している。

第27回 北信越国民体育大会 弓道 競技会



少年女子 (本国体へ)

少年男子

第27回北信越国民体育大会弓道競技会
少年女子国体出場権獲得!!

8月26日〜27日/県営飯田弓道場

〈遠的〉 競技成績

▽少年男子 ①富山県187点 ②長野県172点(手塚暢55点・長沼真司52点・宮下拓人65点) ③石川県156点

▽少年女子 ①富山県180点 ②長野県154点(池上智美78点・牧内あかね30点・茅野さやか46点) ③石川県122点

▽成年女子 ①富山県209点 ②石川県158点 ③新潟県123点 ④長野県110点

〈近的〉 競技成績 36射

▽少年男子 ①石川県31中 ②長野県

26中(手塚暢10中・長沼真司9中・宮下拓人7中) ③富山県26中

▽少年女子 ①長野県22中(池上智美9中・牧内あかね6中・茅野さやか7中) ②石川県20中 ③富山県19中

▽成年女子 ①石川県25中 ②富山県24中 ③新潟県20中 ⑤長野県15中

県別得点 各種目(近的・遠的)とも、1位6点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点

少年男子

①富山県 9点 ②石川県 9点 ③長野県 8点

少年女子

①長野県 10点 ②富山県 9点 ③石川県 7点

成年女子

①富山県 10点 ②石川県 10点 ③新潟県 6点 ④長野県 3点

第61回国民体育大会

秋季大会

10月1日〜4日

兵庫県川西市

〈出場県〉

少年男子…富山県 石川県
少年女子…長野県 富山県
成年女子…富山県

第61回のじぎく兵庫国体に向けて
長野県弓道連盟強化部長

外 蘭 公 毅

第27回北信越国体は地元長野県の開催ということもあり、昨年に続き全種別本国体出場の意気込みで臨みましたが結果的には少年女子だけの通過となり、本国体には成年男子と2チームで行くことになりました。

昨年から強化部では各地区を回りきめ細かい強化指導を行なってきました。2月から6月いっぱい長い期間、また人数も4地区に分散されたので少なくて行き届いた指導が出来たと思っています。それだけに射形、射技だけでなく選手の性格もある程度分かるようになり選手選考には有効だったと思っています。それにしてもわが県は広く、特に高校弓道人口は多く、その中から3人を選ぶのは将に賭けです。しかしいい選手は目で探りで見つけなければ待つてはダメだということが分かりました。

少年は次第に強化の成果が上がってきました。少年男子は遠、近共に2位でもう一歩及びませんでしたが、どちらか1位を取れる力がないと北信越は突破できません。少女はメンバーの実

力からすればもっと楽に勝てたはずですが不完全燃焼でした。この借りはきつと本番で返してくれるものと期待しています。成年男子は志村選手は4回目の出場となりますが他の2人は初出場です。非常にまとまったチームで志村選手を中心に活躍してくれるものと期待していただきたい。

北信越国体では役員を始め関係者の皆様には大変お世話になり、また暖かい御声援を戴きました。御期待に沿えなかつた分は本国体で必ずいい結果を出してお応えしたいと決意していますので相変わらずの御声援をよろしくお願い致します。



松島貞治教士(飯伊支部)
泰阜村長に4選



立候補し、三期連続の無投票で四選が決まった。

先生の自立を掲げる村政運営と、今後ますますご活躍されますようお祈りいたします。

第37回全日本教職員選手権大会

8月11・12日、札幌市の北海道立総合体育センター弓道場で開催され全国から304名の学校教職員が参加した。女子個人の部で中野西高校の盛田奈緒子選手が7位に入賞した。



女子個人7位 盛田奈緒子選手(中野西高校)

伝達講習会(報告)

○7月9日 上級者(五段以上)

長野運動公園 講師 桜井耕三・棚田千鶴

参加者 27名

中野市営 講師 新津一夫

参加者 20名

東御市営 講師 小池梨枝子・北村弥昌

参加者 27名

塩尻市営 講師 外蘭公毅・藤澤敏子

参加者 30名

駒ヶ根市営 講師 土川俊市・百瀬 正

参加者 33名

○7月23日 中級者(四段〜三段まで)

長野運動公園 講師 古澤金蔵・高木涼子

参加者 33名

上田市営 講師 清水克也・民野千代子

参加者 29名

塩尻市営 講師 杉田博・大久保まき子

参加者 20名

駒ヶ根市営 講師 北村弥昌・山口久美子

参加者 26名

錬士研修会

○8月19日〜20日

講師 古澤 博・小池梨枝子

参加者 40名

—以上 小池指導部長—

私と弓道

弓の魅力

飯伊支部 塩澤 忍(五段)

夜九時、多くの人が布団に入ろうかと思う頃に、私の日々の練習が始まる。仕事の都合で帰宅が八時近くになってしまふ。急いで夕食を食べ、6km離れた「志誠館」弓道場に向かう。

稽古は二十射から三十射。終了は一時過ぎ。熱を帯びると日付が変わっていることもある。一週間のほぼ毎日をごんご調子で過ごしている。「眠い」「疲れた」と言いながら道場通いは続いている。

弓道の魅力について自分自身は次のように考えている。他の武道のような、倒すべき相手が弓道にはない。ただ動かめ的に向かって矢を射放すのみである。弓道の勝ち負けの相手は自身の心である。自分の課題は自分の力で何とかしなくてはならない。狙って放した矢の責任はすべて自分にあり、的中の快感もその人個人のものである。絶対に他人の責任にできない。この厳しさ・独立感・達成感、これが魅力だろう。「礼記射義」は究極の教えだと感心する。

高校時代から始め現在に至っている弓道。はじめは的中する快感だけで続けていたように思う。だが今は自分なりに見つけた魅力が私を道場に誘っている。思うように引けた翌日は、仕事も快調に運んでいくように感じている。

終わりに、道場を開放し深夜の稽古をご一緒して下さい。「志誠館」館主、古川忠司先生とご教示頂いている多くの先生方に心からの敬意を表し、拙文を閉じたい。



写真中央 塩澤 忍さん

**全信州弓道支部對抗競技会
並びに団体及び全日本弓道
選手権大会の出場選手激励会**

○9月10日/長野運動公園弓道場

長野県弓道連盟主催による、県下17支部對抗競技会が開催され遠的近的とも諏訪支部が優勝し総合優勝を獲得した。

競技会に先だって行われた団体、全日本選手権大会出場選手の激励会では山川茂樹副会長のあいさつのもと、全日本出場選手を代表して土川俊市選手、国体では外蘭公毅成年男子監督から謝辞と決意表明があった。

山川茂樹副会長の矢渡(第一介添高井・第二介添渡辺)は見事なる束中で参加者に深い感銘を与えた。成績は次の通り。

◆近的競技(60射)

(団体)

- 一位 諏訪支部34中(志村 仁・丸山 清一・清水伸浩・中村 宏・内山喜照)
- 二位 塩尻支部34中(伊藤・熊谷・百瀬・中原・加藤)
- 三位 飯伊支部33中(田畑・藤澤・塩沢・中島・松枝)

(個人)(12射)

- 一位 志村 仁 10中(諏訪支部)
- 二位 伊藤 公二 10中(塩尻支部)

- 三位 百瀬 友彦 10中(同)
- ◆遠的競技(60射)
- (団体)

- 一位 諏訪支部43中(志村 仁・内山 喜照・山田昌代・中村 宏・木下禄章)
- 二位 塩尻支部37中(武居・熊谷・百瀬・伊藤・奥平)
- 三位 松本支部37中(内野・栗林・吉田・宮脇・上條)

(個人)(12射)

- 一位 志村 仁 11中(諏訪支部)
- 二位 吉田 博行 10中(松本支部)
- 三位 木下 禄章 10中(諏訪支部)

◎総合優勝II諏訪支部



総合優勝の諏訪支部

平成18年度 全信州弓道支部對抗競技会 成績表

立順	支部	近的得点	近的的中	遠的得点	遠的的中	総合得点	合計的中	総合順位
1	中高		23		17		40	
2	松本		27	3	37 ③	3	64	
3	佐久		23		16		39	
4	南佐久		23		13		36	
5	諏訪	6	34 ①	6	43 ①	12	77	1位
6	須高		30		32		62	
7	飯山		29		29		58	
8	塩尻	4	34 ②	4	37 ②	8	71	2位
9	長野		31	2	37 ④	2	68	
10	木曾		31		20		51	
11	小諸		22		12		34	
12	大北		19		22		41	
13	上小		28		30		58	
14	長鉄		24		33		57	
15	上伊那	2	33 ④		26	2	59	
16	安曇	1	31 ⑤		28	1	59	
17	飯伊	3	33 ③	1	34 ⑤	4	67	3位

各地大会 結果報告

第5回長野県弓道大会ニ長野

○7月17日/長野運動公園弓道場

参加者157名

伝田選手皆中で優勝(個人)

▽中学生個人 8射

①川端祐斗(長野日大) 5中②小林弘幸(同) 4中③中島悠斗(同) 4中

▽一般個人 8射

①伝田千里(長野) 8中②林 義泰(木曾) 7中③飛知和明弘(上小) 7中

▽一般団体 24射

①長野支部星組19中(矢ヶ崎英次郎・伝田千里・佐藤正之) ②中野土ひな16中(原田・土屋・佐藤) ③木曾義仲A 16中(大島・黒石・林)

—大蔵 務—

第42回県下弓道伊那大会

○7月17日(祝)海の日/伊那市武道館弓道場/参加者234名

☆団体①伊那A(滋野一義・中田真也・久保田智恵)②菁莪館(広田・斉藤・土川)③弥生ヶ丘高(登内・桶屋・清水)

〔高校〕☆個人▽男子①中原康太(赤穂)②春日朋也(弥生ヶ丘)③田中 樹(飯田工業)

▽女子①織田 梓(高遠)②高橋真由(岡谷東)③村松ひかる(下諏訪向陽)

〔一般〕☆個人①中村 宏(下諏訪A)②湯沢幸司(東伊那)③弥永まり子(信州大学)

—萩原秀紀—

第29回御代田町弓道大会

○8月20日/御代田町弓道場

参加者94名

▽個人

①飛知和明弘(上小)②春原由美子(上小)③岡田宏之(飯山)

—田村 脩—

第52回大町市市制記念 県下弓道大会

○9月3日/大町市運動公園弓道場

参加者164名

〔近的の部〕★一般▽団体①池田A(吉野恒人・久保 肇・荒木宏治)②安曇A(渡辺・山岸・丸山)③池田B(曾根原・丸山・宮本)

▽個人①林 義泰(木曾義仲)②丸山三夫(MIX)③戸田裕子(常昇)④荒

木宏治(池田A)⑤曾根原登志男(池田B)

★高校▽団体①松商学園C(宮沢りえ・田中杏奈・森田麻友美)②豊科B(塚原・柏原・竹内)③蟻ヶ崎C(大槻・渋沢・酒井)

▽個人①大久保那奈(深志B)②倉科陽平(大町G)③松本奈保美(大町B)④杉浦華紀(豊科B)⑤森田麻友美(松商C)

〔遠的の部〕★一般▽団体①池田B(曾根原登志男・丸山悦子・宮本晴治)②常昇(河合・戸田・飛知和)③大町B(井戸・佐藤・寺島)

▽個人①曾根原登志男(池田B)②寺島秀人(大町B)③降旗忠男(大町C)④宮本晴治(池田B)⑤丸山悦子(池田B)

★高校▽団体①蟻ヶ崎A(大山 綾・小笠原千穂・柴崎貴充)②豊科C(平林・小山・鶴見)③豊科A(杉浦・種子・徳嵩)

▽個人①松井 剛(大町E)②平林希望(豊科C)③柏原 遼(同B)④柴崎貴充(蟻ヶ崎A)⑤飯島建太(大町北A)

—降旗忠男—

弓道教歌・用語

こしづめの

腰詰めの悪しく押手の定まらで
押されて早くなるものなり。
小笠原流持満の歌で、腰詰めが悪ければ、胴体は、動揺したり上釣合いとなつて、従つて押手定まりがたく、又押す時は、放れを招き易く次第に持満(保)得ずして、次第に早気になるものであるから充分に腰詰めを、堅めるがよい。

こしづめは

腰詰はみぎりに捻は心にて
重き上にも重りかくべし。
大和流胴造りの歌で、兎角初心者は、体折れ易く、又的の方に向い勝ちのものであるから、体は右の方に捻る、心持をにて立ち、又打起し、引込むに従つて腰が、浮き易く体がぐらつくものであるから、重い上にも重りをかけてどっしりしたい。



第21回北信地区高校弓道大会

○9月3日/長野運動公園弓道場

参加者544名

〔団体の部〕▼男子①長野日大高校E

(金井雄一郎・山口裕貴・倉石慎太郎)

②長野高校D(久保・小田切・安藤)

③須坂高校C(川島・牧・山崎)④長

野西高校B(青木・福嶋・小林)⑤長

野西高校C(小田切・坂口・島田)

▼女子①長野商業高校F(神田穂奈

美・高尾彩香・清水瑠未)②長野吉田

高校F(野口・佐藤・北村)③飯山南

高校D(山崎・笠井・小林)④長野吉

田高校H(奥村・小池・西山)⑤長野

西高校F(高橋・森川・中村)

〔個人の部〕▼男子①安藤唯幸(長野

高校)②山口裕貴(長野日大高校)③勝

山孝平(須坂高校)④羽田克起(長野

吉田高校)⑤寺島寛人(長野工業高校)

▼女子①中村静華(長野西高校)②笠

井美菜(飯山南高校)③青山侑己乃(長

野高専)④金井理恵(長野西高校)

⑤永井千尋(長野西高校)

無相大師高校大会

○9月17日/中野市営弓道場

参加者41名

◇男子団体

①長野吉田C(田川洋平・荒井祐磨・

小林弘幸)②長野西C(小田切・坂口・

島田)③長野西E(青木・小林・福嶋)

◇男子個人

①坂口 弦(長野西)②小田切祥平(長

野西)③松本雅也(飯山南)

◇女子団体

①飯山南D(山崎 純・笠井美菜・小

林千晃)②長野B(宮下・高橋・田中)

③長野西B(佐藤・原田・西山)

◇女子個人

①小池聡美(長野吉田)②山口実雅恵

(長野吉田)③笠井美菜(飯山南)

―土屋義雄―

訃報

●矢島敏晴元県弓連理事(諏訪支部教七)は、平成18年8月19日に逝去されました。享年93歳。ここに謹んで哀悼の意を表し、会員の皆様にお知らせします。

●古澤 博 範士九段 県連会長には平成18年9月20日 急逝されました。享年83歳。ここに謹んで哀悼の意を表し、会員の皆様にお知らせします。

審査合格者

○北信越臨時中央審査

◆六段の部 9月17日 長野市

関 澤 喜内(松本)

中 田 真也(上伊那)

丸 山 仙子(松本)

◆七段の部 候補者なし

◆錬士の部 9月16日 長野市・須坂市

涌 井 和 美(長野)

審査合格者(地方)

○8月27日/長野運動公園弓道場

壹 級 10名 初 段 16名

貳 段 11名

瀧澤征一郎・島 浩之・小山 晃

小田切翔平・安藤 唯幸・小田切 遼

浅輪 弘子・市川 則江・掛川 佳奈

梶原 美紀・阿部 敬由

参 段 12名

塚本なお美・玉川喜代巳・林 英彦

杉田 里美・玉木美代子・柳沢 忠憲

中島 梓・味谷 祐幸・永目 実

柳沢 亮治・久保田輝晃・北村 清

四 段 7名

久保田 透・杉浦 早紀・傳田 千里

田中 崇行・丸山 悦子・小林 道子

外山登志子

編集後記

▼暑い暑いと言っておりますうちに秋にはいりました。スポーツの秋いよいよ充実した稽古に励むことができる時期となりました。一年間の集大成の時期です。各種大会に、講習会に、審査に活躍が期待されます。一射一射を丁寧にし、悔いのない射を創り上げましょう。

▼八月二十六日・二十七日に、飯田県営弓道場において北信越国体が開催されました。矢渡しでは県副会長の山川茂樹競技委員長が見事束中され、観衆は深い感銘を受けました。地元役員としても大変な喜びを頂きました。晴れの中でも最高のものを出し尽くす心構えは、斯様なものであると思われました。本国体に参加される成年男子、少年女子の皆さんの健闘をお祈り致します。

▼この号を持って今年の発行も終わります。色々なご意見もある事と思います。どうぞ広報部までお寄せください。また、お忙しい中を寄稿頂いた皆様方に厚く御礼申し上げます。これから良い広報活動ができますように努力して参りたいと思います。

北村 彌 昌